

■ 科学技術賞

わだのりあき

和田法明

バンドー化学株式会社 R&D センター 副参事

各種ゴム材料の耐候性寿命予測及びそのための耐候性標準試料の確立

和田氏は長年にわたり、各種ゴム材料の耐候性評価とその劣化メカニズムの研究を行い、ゴム材料の耐候性評価において、劣化度を評価するために適している特性を劣化メカニズムの中から見出した。また寿命予測の研究の精度を高めるため、日本ゴム工業会の協力を得て、各種ゴム材料を5年間にわたって世界各地で屋外暴露を行うとともに、人工光源での暴露試験も行い、相関がよいゴム材料種などを明らかにした。さらに人工光源と屋外暴露の比例関係や直線的に変化する標準試料の特性と比較する形で、人工光源での評価で検討試料の寿命予測を可能とし、これらの成果を日本ゴム協会や（財）日本ウエザリングテストセンターの研究発表会などで発表を行うとともに、技術内容を論文化した。JIS規格にも提案し、それをベースに日本発のISO規格としてゴム分野の耐候性標準試料と寿命予測のためのデータベースが規格化されるなど、和田氏の成果と活動は、ゴムの耐候性分野の発展に大きく貢献した。

（推薦団体：日本ゴム工業会）

（所属・肩書きは推薦当時 敬称略）